

# ひろばちがさき

No. 928

新政ちがさき

2011年6月18日 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志  
岸 正 明 87-8766  
こいそ妙子 52-6731  
和 田 清 67-5980  
よしかわ和夫 86-0032  
西田 淳一 83-7293

6月9日 吉川議員「安心・安全なまちづくり」の視点から

## 防災対策・交通安全について一般質問する！

### 防災対策

【吉川議員】「東日本大震災」は、被災された方々だけ

けでなく、私たちの今までの生き方を大きく変えるものでした。本市においては、さつそく、この2年間で対応すべき実行計画が策定されたことは迅速な対応をされたことと理解し、敬意を表します。災害時、一人では避難ができない高齢者・障害のある方などいわゆる災害弱者への対策、避難所生活で配慮が必要となる人々への対策等が必要不可欠となるが、「茅ヶ崎市地域防災計画」の見直しに盛り込む考えがあるか。

【市長】防災対策は、今までも機会あるごとに見直しをしてきた。今回の震災を受けて、発災からの初動体制や応急対応など、より具体的な対策を立てていきたい。本市の要援護者（およそ2400名）に対する支援活動を実施している。自治会の協力を得て、ごみ集積場所を一時避難場所にする

など共助のしくみづくりも実施している。また、避難所での福祉的対応についても考えていく。

【吉川議員】震災に伴って起きた福島第一原子力発電所の事故で、放射線は、『見えない、臭わない、感じない』ということで私たちに大きな不安を与えている。放射線で唯一わかることは、『測定できる』ことと考

える。本市では、下町屋にある神奈川県衛生研究所で測定していると聞き及んでいるが、その測定値はどのようなになっているか、また、市民にはどのようにして広報しているか。また、近隣の市では、独自測定をしているが、本市では、独自測定を考えているか。

るためどのように対応するか。

【市長】市内の放射線量は、下町屋の県衛生研究所において、三月一五日午後一時0・182マイクロシーベルトを最大値として六月六日午後一時0・050マイクロシーベルトと減少傾向になっている。（降雨時を除く）詳しくは、市ホームページ・携帯サイト等で測定値を随時更新しているのでご覧いただきたい。0・182マイクロシーベルトを年間の積算計算等で見ると0・96ミリシーベルトとなるが、国際放射線防護委員会基準では1・0ミリシーベルト以下は影響なしとするため、県は心配する値ではないとしている。また、簡易測定器は誤差があり精度に限界があるため、県の値が茅ヶ崎を代表する値とし、現在のところ市独自の測定は考えていない。

### 交通安全対策

【吉川議員】歩道の段差解消を含め整備が進められて

おり、高齢者や車イス等を利用する人々にも優しい道路が拡大するとよいと考える。しかしながら、無謀な運転の自転車でビックリされることがある。平成一五年より始められた「ちがさき自転車プラン」も半ばを過ぎようとしている。プランの実施状況やこの間の評価についての考えはいかがか。自転車がかかわる交通事故は、本市では、残念ながらこの数年県下ワースト3になっていると聞

くがいかがか。  
【市長】人と環境に優しい町茅ヶ崎をめざしハード・ソフト両面から対応しているが、昨年度は、年間四〇〇件を超過す自転車事故があり憂慮している。市内高校生デザインのアインウェア、小学生作成のオリジナル自転車止まれステッカー等で啓発しているが、市民の基本的ルール理解・マナーの向上を今後も訴えていきたい。

\* 質問・答弁が全部掲載できないため、抜粋とさせていただきます。